

話を聞いてくださった お友達にありがとう

私の主人が亡くなった時、私は何もする気が起きずに悩んでいました。その時、近所の女性の友人が私の話をただただ聞いてくださいました。「うんうん、そうだねわかるよ、つらかったんだね」女性はただただうなずいて聞いてくださるだけでしたが、その後私は立ち直る事ができました。

先日、「傾聴」の意味を知りました。私は友人に傾聴してもらって救われたのです。これからは私も傾聴出来る人間になりたいです。

(世田谷区/E・S)

お父さんありがとう

私は今年定年になりました。幸いにも嘱託として会社に残ることもありませんでした。これからは第二の人生を楽しもうと思えます。

父は上水道関係の会社を経営して財をなしました。しかし、父には母とは別にお婆さんがいました。その方との間には子供もおり、別宅で暮らし本宅にはたまに帰ってくるだけでした。

そんな父に反発して嫌い、社会人となる私は経営者の道は歩まず、会社員としての道を選択したわけです。会社員になってからの私は業績と実力を買われ色々な会社からお呼びいただき現在にいたっております。会社員としては幸せな人生であったとおもいます。

今思うと私には経営者としての父のDNAが流れていたからこそ会社で実績のこせたのだと感じます。そしてなにより父は人に優しくかった。だから女性にももてたのだということ。私は父の子として生まれて感謝出来るようになりました。

(目黒区/M・N)



旅館のおかみさん

ありがとう

以前、同級生の親友がなくなりまして。その友人を偲んで同級生が集まり、山形のかみのやま温泉へ旅行にゆきました。

女同士昼間は姦しく道中を楽しみました。

しかし夜になると親友との思い出がこみ上げてきてみなすっかり気分がはずんでしまいました。

夜泊まった旅館のおかみさんがご挨拶にみえました。私たちの旅行のわけ

をお話しました。おかみさんのお父さんも先日亡くなられたそうです。「私はこの曲で悲しい気持ちがいやされましたよ」

と新井満さんの作曲された「千の風になつて」お話をきかせてくださいました。

宮崎駿さんのアニメで曲が紹介される前の話です。

おかみさんはCDをお部屋に持ってきてくださいました。

その夜はみなでしんみりと思い出を語り、とてもすてきな時間をすごせていただきました。おかみさんありがとうございました。

それからずつと私にとつて新井満さんの詩や作品はいつも私の心の癒しとなっております。

「千の風になつて」

私のお墓の前で泣かないでください

そこに私はいません

眠ってなんかないません

千の風に 千の風になつてあんな大きな空を 吹きわたっています



秋には光になつて 畑にふりそそぐ

冬はダイヤモンドのようにきらめく雪になる

朝は鳥になつてあなただを目覚めさせる

夜は星になつて あなただを見守る

私のお墓の前で泣かないでください

そこに私はいません

死んでなんかないません

(横浜市/T・K)

銀行で列に並んでいた 男性にありがとう

給料日を少し過ぎたある日、銀行のATMには列ができていました。

その列に並びながら、忘れものをしてきたことを思い出しました。

せっかく並んだのだから、お金をおろしてから忘れものを取りに行こうと考えているうちに順番がまわってききました。

お金をおろし銀行を出て数メートル歩いたところで、うしろから声を掛けられました。

「カードをお忘れになっていませんか？」その男性の手にあるカードにはわたしの名前がありました。

きつと、忘れものに気をとられていてATMのあたりに落としてしまったのでしよう。

「ありがとうございます。助かりました」そう口にした途端、男性は「いえいえ」といった身振り銀行のほうに戻っていかれました。

きつとわたしのあとにATMを利用しようとなさり、わたしのカードに気づかれてすぐ、わたしを追ってきたださつたのでしよう。

またあの列の後ろに並び直されたのかしら。

そう思うと気の毒になると同時に、その方の優しさに一日心が温まりました。

わたしに明るい一日をくださって、どうもありがとうございました。

(東京都文京区/E・S)



むすめ達にありがとう

先日のバレンタインデーにむすめ達が主人にかわってプレゼントをくれました。



次女は欄の花とチョコを、長女は50ドル紙幣をプレゼントしてくれました。ありがとう。

普天間基地移転問題で揺れ動くテニアン島からでした。... そういえば先日も日本の議員さんがいまして。私を現地人だと思っただのか機密事項を大声で話されていました。(笑い) (テニアン島/MICHI)

兄にありがとう

若い頃の私は常にとげがあり、人づつがってばかりでイガグリのような性格でした。社会人になって何度も転職してはトラブルを起こしていました。

そんな私に転機が訪れたのは5年程前に仕事で事故にあつて九死に一生を得た時の事でした。私には兄がいます。真面目で無口な兄ですが、常に私を見守ってくれていました。さりげなく、一言アドバイス

をしてくれたり、生き方の哲学書を置いていってくれたりしていました。思い起こせば青年になってからずっとです。最初はめんどくさくて反発して読んでもいかなかったのです。しかし、あまりにトラブルに巻き込まれるし... 事故を起こした頃には内緒で少しだけ目を通すようになっていました。

自分の生き方に問題があるんだということは内心わかってましたし。入院先にお見舞いに来てくれた兄は「命があつてよかった。おれはおまえが生きていて嬉しい」と心配して泣いてくれました。事故の原因は私の不注意でした。怒られると思つていた私は戸惑いました。しかし兄の思いやりがうれしくて、今までの自分が恥ずかしい思い出いっばいになりました。兄責を見習つてまっすぐに歩いてみるよ。心配してくれてありがとう。(目黒区/A・H)



お客様にありがとう

先日、若夫婦ご一家のお住まいの購入のお仕事を手伝わせていただきました。それまでは奥様のご実家の近所にお住まいでした。夫のご両親が病気になられたことから夫の実家の近くへ引っ越しされたのです。



今回、仕事のご縁を通して女の子を持つ親の気持ちや、男の子の親として

恵方巻にありがとう

私の家ではいつの頃からか節分の日には恵方巻を食べることが恒例となっています。本来であれば、年ごとに決まつた方向を向いて一本食べきるまで一言も話さずに食べるのが正しい方法なのだそうです。しかし、我が家では一本食べきるまで黙つて食べる事ができない人間ばかりなのか、恵方巻といつても結局は各自が思い思いの手巻き寿司を作つては食べるという形になつてしまっています。

本来のやり方とは違つてしまつていますが、それはそれで「次はこの具を入れてみよう」「具を入れ過ぎて上手く巻けない」等々、日頃の食事以上に会話が増えることとなります。我が家にとつての節分・恵方巻は家族団欒の夕食を持たしてくるものなのです。笑う門には福来るといいますが、節分の日にはさつそく我が家には福が来ていると実感しています。毎年楽しい家族団欒の場を与えてくれる節分、そして恵方巻にありがとうと言いたいと思います。(ありがとう・不動産/木戸晶裕)

【携帯 Deショット】板橋・愛誠病院の裏の緩やかな傾斜地、雨上がりの朝に木漏れ陽に水滴を輝かせて咲いていた純白の水仙。診察の待ち時間に見つけました。その清潔で清楚な花弁は看護師のナースキャップのようにも見えます。



【原稿をお待ちしています。】

本誌は北海道から沖繩までの友人から「あ、寄せていただいな」とありがとうののり出、短文、詩、俳句、短歌、写真、絵画などを掲載します。作品は編集部までお送りください。投稿いただいた方には、オリジナルの「ありがとうメガネ拭き」をプレゼントさせていただきます。皆様からの投稿をお待ちしております。



また、「ご自分のお名前や事業所名を刷り込んで、身近な方やお客様へ配布されてはいかがですか?」ご意見やご提案がございましたら是非お聞かせください。



携帯電話の方はQRコードから
パソコンの方は下記のURLから
http://1039.seesaa.net/
メールでのご投稿は...
info@holonics.gr.jp



【編集・企画】株式会社ホロニクス総研・編集部